

りそな Resona Today

第20期 りそなグループ 中間報告書
(2020年4月1日～2020年9月30日)



INDEX

Top Message	02	外部評価	10
りそなグループ		新型コロナウイルスへの対応	11
経営体制の強化に向けて	03	りそなグループの業績	12
価値創造モデル	04	財務諸表/連結	16
深掘	06	グループ銀行・銀行持株会社の概況/株式の状況	18
深掘×挑戦	07	株式事務のご案内/個人情報のお取り扱い	20
挑戦	08	りそなの株主優待	22
基盤の再構築	09	りそな株主セミナー開催のお知らせ	裏表紙

Resona
Premium Meeting

りそな株主セミナー

Online
オンライン

詳しくは裏表紙をご覧ください



株式会社 りそなホールディングス

「リテールNo.1」の実現に向けて

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けられた皆さま方に、謹んでお見舞い申し上げます。

今中間期は、コロナ禍において、お客さまご支援と規律ある財務運営の両立に努めてまいりました。業績の動向は、緊急事態宣言下での制約等から第1四半期は低位な進捗となりましたが、徐々に回復基調となり、結果として、親会社株主に帰属する中間純利益は563億円(通期目標比46.9%)となりました。また、2020年9月末の不良債権比率は1.07%、自己資本比率は11.49%と、引き続き健全な水準を維持しています。

普通株式1株当たりの年間配当予想は期初にお示した通り、前年度と同水準となる21円とし、また、中間配当は10.5円とさせて頂きました。引き続き、安定配当を継続するとともに、健全性、収益性とのバランスや成長投資の機会を考慮しつつ、株主さまへの還元拡充に努めてまいります。

2020年5月に策定した新たな中期経営計画では、レゾナンス・モデルの確立(Resonance:「共鳴」)を基本方針とし、お客さまのこまりごと・社会課題を起

点に、様々な「共鳴」を通じて、お客さまに新たな価値を提供してまいります。

今回の「コロナ危機」という社会課題の解決のため、資金繰りのご支援など、地域に根差した円滑な金融サービスをご提供しています。また、振込をはじめとする様々なお取引がスマホで完結する「りそなグループアプリ」等を通じて、お客さまの非対面取引ニーズにお応えしています。

「お客さまの喜びがりそなの喜び」という基本姿勢を貫き、引き続き「リテールNo.1」のサービスグループを目指して、企業価値の最大化に努めてまいります。今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長

南昌宏

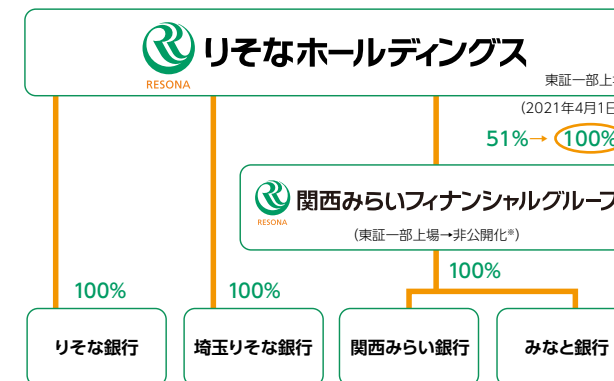
2020年12月

TOPICS

りそなグループ経営体制の強化に向けて ～関西みらいフィナンシャルグループの完全子会社化～

グループ一体での更なる経営力強化のため、 2021年4月、関西みらいフィナンシャルグループの完全子会社化を実施します。

関西みらいフィナンシャルグループの株主に、引き続きりそなホールディングス株主として、りそなグループをご支援頂くとともに、既存のりそなホールディングス株主の一株当たり利益(EPS)希薄化を抑制するため、株式交換を中心とした以下のステップで完全子会社化を実施します。



関西みらいフィナンシャルグループ社長 菅哲哉(左)と
りそなホールディングス社長 南昌宏(右)

①株式公開買付け※

2020年
11月11日～12月9日

関西みらいフィナンシャルグループ株式を
一株当たり500円で取得

②株式交換※

2021年4月1日
効力発生

関西みらいフィナンシャルグループ株式1株に対し、
りそなホールディングス株式1.42株を交付

③自己株式取得※

完全子会社化後
速やかに

本取引に伴いEPSの希薄化が生じる場合には、当該希薄化に対応

※詳細は、2020年11月10日リリース「株式会社りそなホールディングスによる株式会社関西みらいフィナンシャルグループの完全子会社化に向けた株式交換契約の締結(簡易株式交換)等に関するお知らせ」をご参照ください。(https://www.resona-gr.co.jp/holdings/news/hd_c/detail/20201110_1397.html)

りそなグループをあげた 関西圏へのさらなるコミットメント

- マザーマーケットであり、経済活動の活発化が期待される関西圏へ関西みらいフィナンシャルグループと一体で地域とともに成長するりそなを実現
- りそなグループの銀行各社が特色のある営業戦略・スタイルのもと力強く成長

りそなグループ一体での 経営力の強化

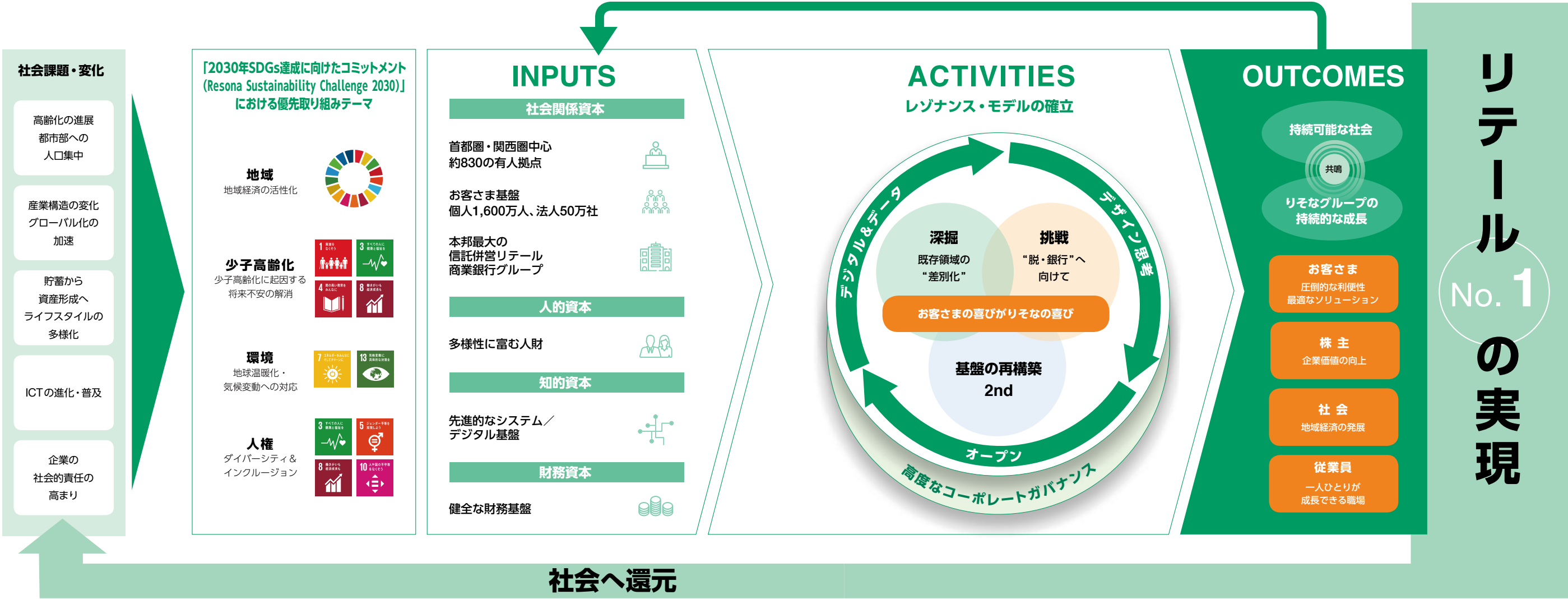
- コロナ禍の長期化も見据えてグループ一体でお客さま・地域経済を支える経営力強化
- りそなグループが目指す「リテールNO.1」に向けたスピードを加速
- 社外流出の抑制を通じた資本基盤の拡充・総資産収益率(ROA)の向上

ガバナンス強化を通じた グループ一体運営の加速

- 中期経営計画の確実な達成に加えて、経営資源の最適化を通じたさらなる経費コントロールの実現
- りそなホールディングス・関西みらいフィナンシャルグループの一体運営を通じた本部機能のスリム化
- チャネルネットワークの最適化
- 効率的な事務集中体制構築(組織を超えた人財再配置)

りそなグループの価値創造モデルは、「お客さまのこまりごと」「社会課題」を起点にビジネスを考え抜くことを出発点としています。
これまで培ってきた「りそなの強み」をベースに、お客さまとの接点を重視し、社会課題を解決していくという軸がぶれることはありません。

一方で、産業や社会構造が大きく変わり、テクノロジーが圧倒的に進化するなかで、お客さまの価値観やビジネス、金融行動そのものが大きく変化しています。私たちは、こうした変化に適合し、既成概念にとらわれることなく、新たな顧客体験の創造、新たなお客さま価値の提供を目指します。



寄付プロジェクト「みらいE-usプロジェクト」

本プロジェクトは、SDGsに関連した＜対象投資信託＞の収益の一部を「公益財団法人りそな未来財団」と「公益財団法人みなと銀行育英会」に寄付し、経済的課題を抱えている学生をサポートする仕組みです。

対象投資信託の取扱金額※1は増加しており、実施期間の延長※2に加えて、新たに「みらい定期便」が対象投資信託に加わりました。次回寄付は、2021年春を予定しています。今後もお客さまと共にSDGs実現に向けて取り組んでまいります。

- ※1 次回寄付に向けた2020年1月～6月末までのお客さまのご購入金額は、136億円以上
- ※2 2020年12月31日から2021年12月31日に1年間延長
- ※3 2020年10月末現在の対象投資信託です。取扱ファンドは各銀行により異なります。

＜対象投資信託＞※3



環境
100年後も安心して暮らせる環境のある未来



健康・福祉
人生100年時代を健康に生きる未来



教育
みんな(子ども～大人)が教育を受けられる未来



経済成長 事業支援
社会的な課題が改善され、企業も社会も持続的に成長していく未来

NEW
2020年8月3日～



生活
人生100年時代において豊かな資金生活が維持される未来

「新型コロナ医療応援私募債」※1 「埼玉りそなSDGs私募債～新型コロナ医療支援ファンド～」※2

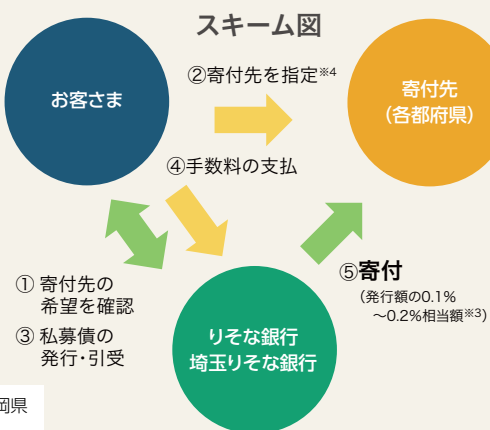
お客さまが発行する私募債発行額の0.1%～0.2%に相当する金額※3を、都府県が募集している新型コロナウイルス対策基金などへ寄付する私募債の取り扱いを開始しました。

お客さまの資金ニーズだけでなく、医療従事者の方々を応援したいというニーズにもお応えしています。

- ※1 りそな銀行で2020年6月10日より取扱開始
- ※2 埼玉りそな銀行で2020年6月5日より取扱開始
- ※3 りそな銀行0.1%、埼玉りそな銀行0.2%
- ※4 寄付先は各銀行により異なります。(下記ご参照)

寄付先一覧

〈りそな銀行〉千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、福岡県
〈埼玉りそな銀行〉埼玉県



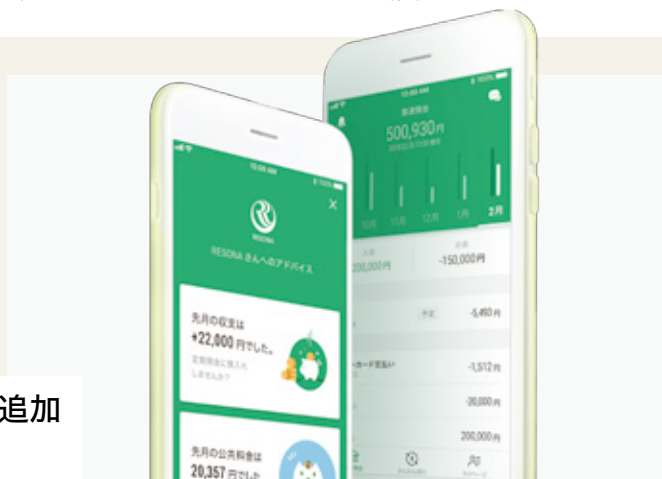
「りそなグループアプリ」300万ダウンロードを突破※

“銀行を持ち歩く”世界観を体感できることが評価され、多くのお客さまにご利用いただいています。

シンプルな画面デザインと操作性にこだわり、今後も機能追加・向上を続けていきます。

※ 2020年10月15日現在

2020年4月「海外送金サービス機能」を追加
2020年5月「iDeCo申込機能」を追加



「りそなキャッシュレス・プラットフォーム」新端末を導入

新端末

Anywhere A9



「機能性」「利便性」「拡張性」に優れた高機能端末を2020年10月にリリースしました。

アフターコロナの中で高まる中小企業のお客さまの決済手段のデジタル化・多様化ニーズにお応えしています。タクシー事業者等の移動体※でのご利用も可能です。

※ 移動体での電子マネーは今後対応予定です。(2020年11月末時点)

特徴	「機能性」	高容量バッテリー搭載(約20時間連続稼働)、高解像度カメラ搭載(QRコード読取に対応)
	「利便性」	取引照会サービス無料、dポイント利用
	「拡張性」	業務効率化に役立つ機能を搭載予定

みなと銀行で「りそなファンドラップ」の取り扱い開始

2020年10月、りそなグループが半世紀にわたり培ってきた年金運用のノウハウを活かし、長期分散投資による安定的な運用成果を目指す「りそなファンドラップ」の取り扱いを、みなと銀行でも開始しました。

お客さま起点のビジネスを展開する関西みらいフィナンシャルグループとの資産形成分野におけるグループシナジーを拡大しています。



オープン・イノベーション共創拠点「Resona Garage」開設

2020年9月、ビジネスモデル・経営基盤の次世代化を加速させるため、「Resona Garage（りそなガレージ）」を開設しました。

業種を超えた様々な企業や、4月に設置した「クロス・ファンクショナル・チーム」※が集まる拠点とすることで、銀行の枠に留まらない新たな事業や業務プロセス改革の実現を加速させています。

※ 新規ビジネスの創出や既存ビジネスの深掘、業務の再構築を行う組織横断的な専任チーム



▲エントランス



▲ミーティングエリア

お客さま接点拡充とローコスト運営を両立

りそなグループは、お客さま接点拡充とローコスト運営の両立のため、業務プロセス・営業スタイル変革を進めています。

こうした取り組みが評価され、2020年8月、りそなホールディングスは「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2020※」に選定されました。

※ 経済産業省が東京証券取引所と共同で、デジタルトランスフォーメーション(DX)に積極的に取り組む上場企業を選定し、投資家にとって魅力のある企業として紹介しているもの

DX銘柄2020
Digital Transformation

<DXの取り組み事例>



▲「りそなグループアプリ」



▲セミセルフ端末「クイックナビ」

「グループ共同店舗」運営によるグループシナジーの拡充

店舗ネットワークの効率化、グループ内の連携強化のため、異なる銀行が同じ建物内で営業するグループ共同店舗運営を拡大しています。

ロビーなどの店舗施設は共同利用し、お振込みなどの窓口業務を一本化しつつ、各店舗の商品やサービスは従来通り取り扱います。

お客さまの利便性を維持しながら、店舗運営の効率化・ソリューション力の向上を図っています。

※ 各社の商品・サービスは各店舗の窓口でご提供しています。



▲共同窓口（「りそな銀行」高槻富田支店と「関西みらい銀行」富田支店のグループ共同店舗内）



「りそな銀行」加古川支店と「みなと銀行」加古川支店のグループ共同店舗（2020年11月16日オープン）※

◀「りそな銀行」高槻富田支店と「関西みらい銀行」富田支店のグループ共同店舗（2020年8月24日オープン）



「リテールNo.1」を目指すりそなの取り組みは、外部からも評価をいただいています。

※2020年10月末現在

 R&Iファンド大賞 2020(※1)(※2)(※3) https://www.r-i.co.jp/investment/fund_award/index.html	 「R&I顧客満足大賞 2020(年金部門)」最優秀賞(※1) https://www.r-i.co.jp/pension/news_flash/2020/03/news_flash_20200309_1_1.html	 マーサーMPA(JAPAN) アワード2020(※2)(※4) https://www.mercer.co.jp/newsroom/2020-mpa-awards.html
 「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」(投資家部門)銅賞(※2)	 HDI格付けベンチマーク「問合せ窓口格付け」最高評価「三つ星」(※1)	 プラチナくるみん(※5)
 「健康経営優良法人2020」に選定(※7)	 りそなグループアプリ「App Ape Award 2019」優秀賞(※6)	 「Gomez IRサイトランキング2019」金賞(※6)

※1 りそな銀行 ※2 りそなアセットマネジメント ※3 国内株式コア株式口A_市場型、オルタナティブ(債券系)キャプラ・グローバル・レタティブ・バリュートラスト
 ※4 国内株式大型部門(5年)市場型/株式口A、国内株式大型部門(5年)グローバル企業/株式口V ※5 りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行・みなと銀行
 ※6 りそなホールディングス ※7 りそなホールディングス(大規模法人部門)・りそな保証(中小規模法人部門)

ESG指数 (※a)(※6)

GPIFが選定したESG4指数すべてに採用

 FTSE Blossom Japan FTSE Blossom Japan Index	 2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN) MSCI日本株女性活躍指数(WIN)	 2020 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	 S&P/JPXカーボンエフィシエント指数
 FTSE4Good Index Series FTSE4Good	 2020 MSCI ESG Leaders Indexes MSCI ESG Leaders Indexes	 2020 SOMPOサステナビリティ・インデックス Sompo Sustainability Index	

※a… https://www.resona-gr.co.jp/holdings/sustainability/award/index.html

新型コロナウイルスへの対応

感染防止対策やソーシャルディスタンス啓発、資金繰りのご支援などの円滑な金融サービスのご提供などを通じて、社会的使命を果たしてまいります。

きめ細かな相談体制

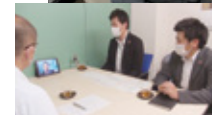
■事業再生支援室を「成長戦略室」に改組※1(りそな銀行)

人財確保や販路拡大など、資金支援以外もサポートを行い、お客さまの安定的な成長を支援しています。



■融資部内に「営業店支援グループ」を設置※2(埼玉りそな銀行)

審査業務における営業店との連携を強化することで、お客さまへの円滑な資金繰り支援等を図っています。



▲オンラインを使ったご相談の様子

感染防止対策・ソーシャルディスタンス啓発

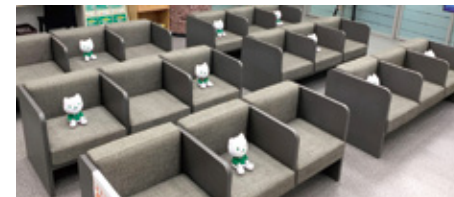
従業員の安全衛生、負担軽減にも配慮を行った上で、業務継続にあたっています。



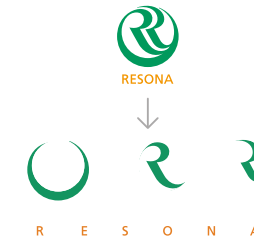
▲窓口に飛沫防止シートを設置



▲店頭掲示ポスター



▲店頭でのソーシャルディスタンス啓発活動例



▲ソーシャルディスタンスロゴ

Re:Heart倶楽部 「学業継続支援募金」

Re:Heart倶楽部※3では、「りそな未来財団」「みなと銀行育英会」の奨学金を受けた学生の皆さんに、コロナ禍でも安心して学業に取り組んでもらうため、「学業継続支援募金」を実施しました。

グループの役職員有志より、5,848,300円の募金が集まり、133人の学生に支援金をお届けしました。



◀学生からのお礼の手紙

- ※1 2020年8月に改組
- ※2 2020年8月に設置
- ※3 2012年10月に発足した、りそなグループ従業員のボランティア活動団体

りそなグループの業績 2020年9月中間期

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

親会社株主に帰属する中間純利益は、563億円となりました。

第1四半期は、コロナ禍での営業活動の制約や予防的見地を踏まえた与信費用の計上などもあり、低位な進捗となりましたが、徐々に回復基調となり、通期目標に対する進捗率は46.9%となりました。

■ 損益の状況 (りそなホールディングス連結)

	2019年9月期 (A)	2020年9月期 (B)	前年同期比 (B)－(A)	(単位:億円)
業務粗利益	3,315	3,173	△141	
資金利益 ^{*a}	2,163	2,044	△118	
信託報酬	93	92	△0	
役務取引等利益 ^{*b}	887	842	△45	
その他業務粗利益	171	193	+22	
経費(除く銀行臨時処理分)	△2,082	△2,064	+17	
実質業務純益 ^{*c}	1,235	1,111	△124	
株式等関係損益(先物込)	32	28	△3	
与信費用 ^{*d}	△103	△231	△127	
その他損益等	△41	△66	△24	
税金等調整前中間純利益	1,122	842	△280	
法人税等合計	△306	△245	+60	
非支配株主に帰属する中間純利益	△46	△32	+14	
親会社株主に帰属する中間純利益	769	563	△205	

利回り低下による減益要因を、法人を主体とした貸出残高増加により一部補完しました。

対面営業の制約から第1四半期は低進捗でしたが、第2四半期では回復基調となりました。

債券関係損益はタイミングを捉えた売買益積み上げにより増加しました。

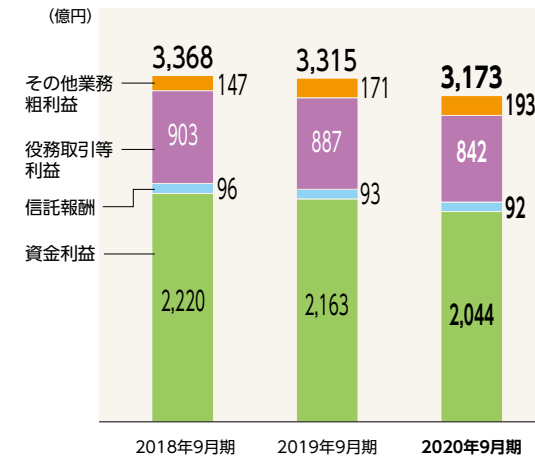
人件費・物件費ともに減少(改善)しました。

予防的見地を踏まえた対応もあり、第1四半期は大きく増加しましたが、上期累計では年間目標に対してインラインの進捗となりました。

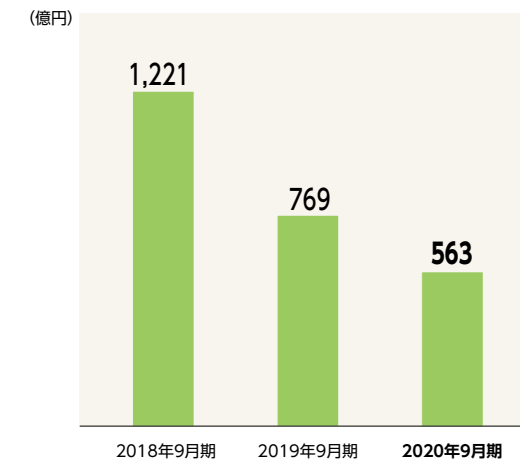
用語解説

- ※a 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- ※b 役務取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまからいただく手数料収入のことです。
- ※c 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- ※d 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。
- 貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- ※e 経費率 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

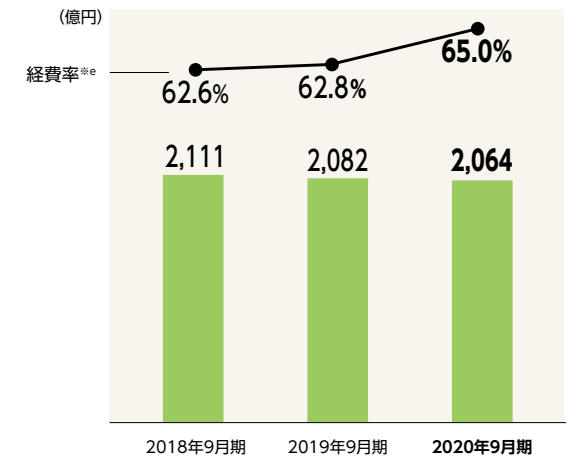
■ 業務粗利益



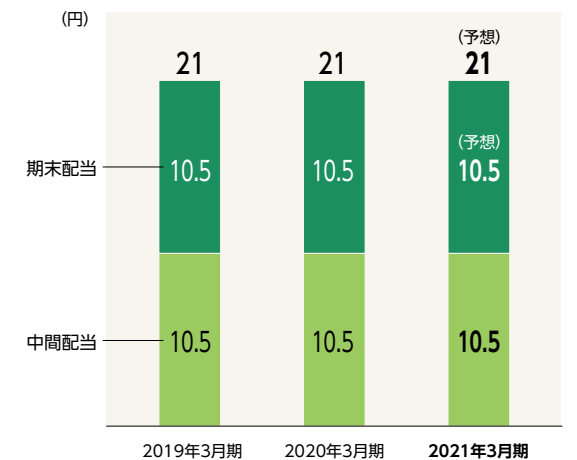
■ 親会社株主に帰属する中間純利益



■ 経費(除く銀行臨時処理分)



■ 普通株式1株当たり配当金



りそなグループの業績 2020年9月中間期

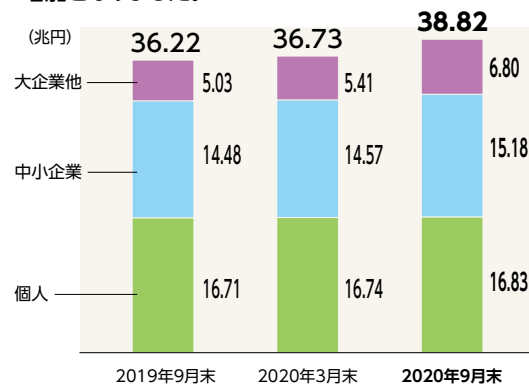
※金額については単位未満を切捨て表示しております。

貸出金・預金の状況

貸出金、預金とも増加基調を維持しています。

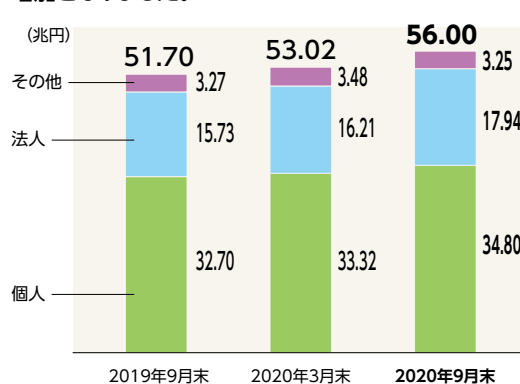
■貸出金残高（グループ銀行合算）

法人向けを中心に増加し、前年同月比約2.59兆円の増加となりました。



■預金残高（グループ銀行合算）

法人、個人ともに増加し、前年同月比約4.30兆円の増加となりました。

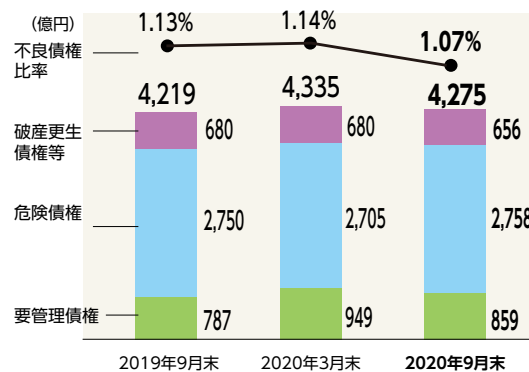


財務健全性指標の推移

健全な財務運営を継続しています。

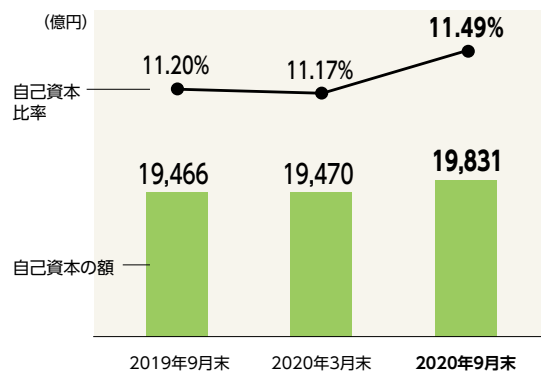
■不良債権および不良債権比率（グループ銀行合算・金融再生法基準）

不良債権比率は1.07%と、2020年3月末比改善しています。



■自己資本比率（りそなホールディングス連結）

自己資本比率（国内基準）は11.49%と、引き続き健全な水準を維持しています。



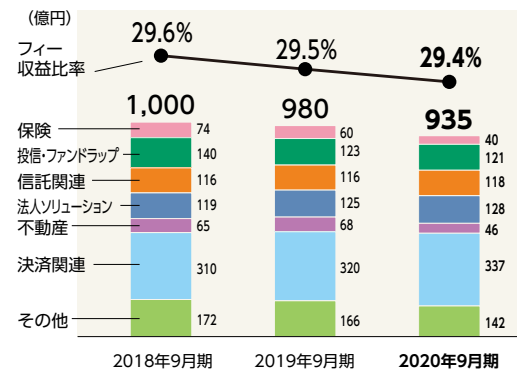
(参考) なお、国際統一基準の普通株式等Tier1比率は13.17%となっています。パーゼル3最終合意・完全実施基準の普通株式等Tier1比率(その他の有価証券評価差額金除き)の2020年9月期実績は、9.1%程度です。

フィービジネスの状況

コロナ禍で変化するお客さまのこまりごとに対し、「りそな」ならではのソリューションのご提供に努めています。

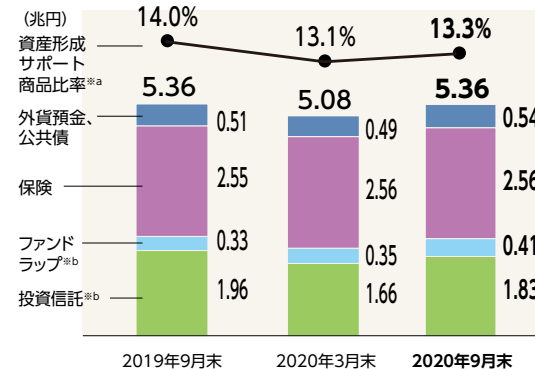
■フィー収益（りそなホールディングス連結）

対面営業の制約等から、保険、不動産が減少しましたが、法人ソリューション、決済関連が増加しました。



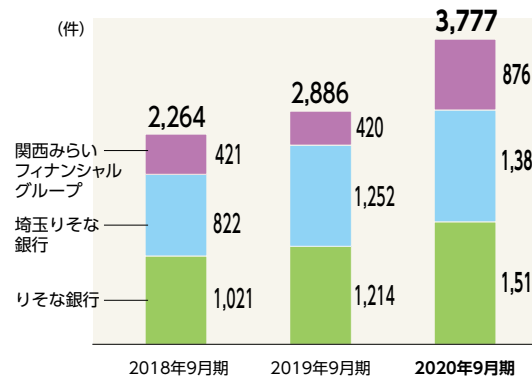
■個人向け資産形成サポート商品残高（グループ銀行合算）

中長期的な資産形成に資する商品ラインアップの拡充に努めました。

※a. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
※b. 時価ベース残高

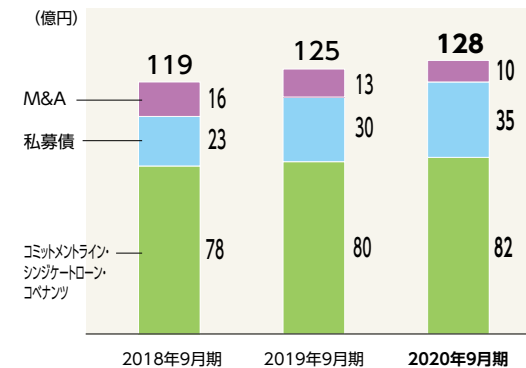
■承継信託新規利用件数（グループ銀行合算）

高まる承継ニーズにグループで木目細かく対応しています。



■法人ソリューション収益（グループ銀行合算）

私募債がSDGs関連商品の提供等により好調に推移しました。



財務諸表 / 連結

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

中間連結貸借対照表

(単位:億円)

	2020年3月31日現在	2020年9月30日現在
資産の部		
現金預け金	153,295	219,044
コールローン及び買入手形	4,734	1,191
買入金銭債権	2,485	2,146
特定取引資産	4,573	3,265
有価証券	55,556	59,483
貸出金	366,455	388,712
外国為替	1,074	1,001
リース債権及びリース投資資産	406	386
その他資産	9,643	11,459
有形固定資産	3,697	3,647
無形固定資産	497	480
退職給付に係る資産	325	349
繰延税金資産	353	320
支払承諾見返	3,627	3,520
貸倒引当金	△ 1,602	△ 1,708
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	605,124	693,299

	2020年3月31日現在	2020年9月30日現在
負債の部		
預金	529,099	558,787
譲渡性預金	9,428	7,244
コールマネー及び売渡手形	696	13,894
売現先勘定	—	50
債券貸借取引受入担保金	5,324	5,187
特定取引負債	872	685
借入金	7,699	54,812
外国為替	50	69
社債	3,960	3,360
信託勘定借	13,168	13,013
その他負債	7,007	6,517
賞与引当金	175	154
退職給付に係る負債	227	187
その他の引当金	382	366
繰延税金負債	56	549
再評価に係る繰延税金負債	184	183
支払承諾	3,627	3,520
負債の部合計	581,959	668,583
純資産の部		
資本金	504	505
利益剰余金	17,200	17,420
自己株式	△ 128	△ 32
株主資本合計	17,576	17,893
その他有価証券評価差額金	3,061	4,269
繰延ヘッジ損益	166	134
土地再評価差額金	402	400
為替換算調整勘定	△ 19	△ 43
退職給付に係る調整累計額	△ 404	△ 364
その他の包括利益累計額合計	3,206	4,396
新株予約権	2	2
非支配株主持分	2,379	2,423
純資産の部合計	23,165	24,715
負債及び純資産の部合計	605,124	693,299

中間連結損益計算書

(単位:億円)

	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
経常収益	4,309	3,819
資金運用収益	2,420	2,148
（うち貸出金利息）	(1,865)	(1,789)
（うち有価証券利息配当金）	(375)	(235)
信託報酬	93	92
役務取引等収益	1,185	1,133
特定取引収益	24	31
その他業務収益	351	244
その他経常収益	233	168
経常費用	3,183	2,974
資金調達費用	256	104
（うち預金利息）	(103)	(53)
役務取引等費用	298	290
特定取引費用	3	0
その他業務費用	202	81
営業経費	2,132	2,128
その他経常費用	290	368
経常利益	1,125	844

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:億円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額						新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	504	-	17,200	△ 128	17,576	3,061	166	402	△ 19	△ 404	3,206	2	2,379	23,165
海外子会社の会計基準の改正等に伴う累積的影響額			△ 3		△ 3								△ 3	△ 6
会計方針の変更を反映した当期首残高	504	-	17,197	△ 128	17,573	3,061	166	402	△ 19	△ 404	3,206	2	2,375	23,159
当中間期変動額														
新株の発行	0	0			1									1
剰余金の配当			△ 241		△ 241									△ 241
親会社株主に帰属する中間純利益			563		563									563
自己株式の取得				△ 14	△ 14									△ 14
自己株式の処分		△ 0		8	8									8
自己株式の消却		△ 102		102	-									-
土地再評価差額金の取崩			1		1									1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0									0
利益剰余金から資本剰余金への振替		100	△ 100		-									-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						1,207	△ 31	△ 1	△ 24	39	1,189	△ 0	47	1,236
当中間期変動額合計	0	-	222	96	319	1,207	△ 31	△ 1	△ 24	39	1,189	△ 0	47	1,556
当中間期末残高	505	-	17,420	△ 32	17,893	4,269	134	400	△ 43	△ 364	4,396	2	2,423	24,715

自 2020年4月 1日
至 2020年9月30日

グループ銀行・銀行持株会社の概況

■りそな銀行

損益の推移 (単体)			(単位:億円)
	2019年9月期	2020年9月期	
業務粗利益	1,771	1,671	
経費	△ 1,044	△ 1,031	
実質業務純益 ※1	726	639	
与信費用	△ 72	△ 136	
中間純利益	489	332	

貸出金・預金の推移 (単体)			(単位:億円)
	2019年9月末	2020年9月末	
貸出金*	197,791	213,027	
預金・譲渡性預金	283,578	305,252	

※貸出金は銀行勘定、信託勘定の合算です。

自己資本比率の推移 (連結・国内基準)			(単位:億円)
	2020年3月末	2020年9月末	
自己資本の額	10,737	11,046	
リスク・アセット等 ※2	102,341	101,401	
自己資本比率 (%)	10.49	10.89	

■関西みらいフィナンシャルグループ

損益の推移 (関西みらいFG銀行合算※4)			(単位:億円)
	2019年9月期	2020年9月期	
業務粗利益	668	641	
経費	△ 552	△ 534	
実質業務純益 ※1	115	107	
与信費用	6	△ 40	
中間純利益	90	52	

貸出金・預金の推移 (関西みらいFG銀行合算※4)			(単位:億円)
	2019年9月末	2020年9月末	
貸出金	91,091	94,565	
預金・譲渡性預金	108,111	112,830	

自己資本比率の推移 (連結・国内基準)			(単位:億円)
	2020年3月末	2020年9月末	
自己資本の額	4,475	4,545	
リスク・アセット等 ※3	55,574	54,517	
自己資本比率 (%)	8.05	8.33	

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■埼玉りそな銀行

損益の推移 (単体)			(単位:億円)
	2019年9月期	2020年9月期	
業務粗利益	603	580	
経費	△ 369	△ 373	
実質業務純益 ※1	233	206	
与信費用	△ 21	△ 21	
中間純利益	155	136	

貸出金・預金の推移 (単体)			(単位:億円)
	2019年9月末	2020年9月末	
貸出金	73,393	80,652	
預金・譲渡性預金	138,926	152,225	

自己資本比率の推移 (単体・国内基準)			(単位:億円)
	2020年3月末	2020年9月末	
自己資本の額	3,527	3,693	
リスク・アセット等 ※2	24,954	25,192	
自己資本比率 (%)	14.13	14.66	

■グループ銀行合算

損益の推移			(単位:億円)
	2019年9月期	2020年9月期	
業務粗利益	3,043	2,892	
経費	△ 1,967	△ 1,939	
実質業務純益 ※1	1,075	952	
与信費用	△ 87	△ 198	
中間純利益	734	520	

※1 実質業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

※2 リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

※3 リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

※4 関西みらい銀行、みなと銀行合算

株式の状況

2020年9月30日現在

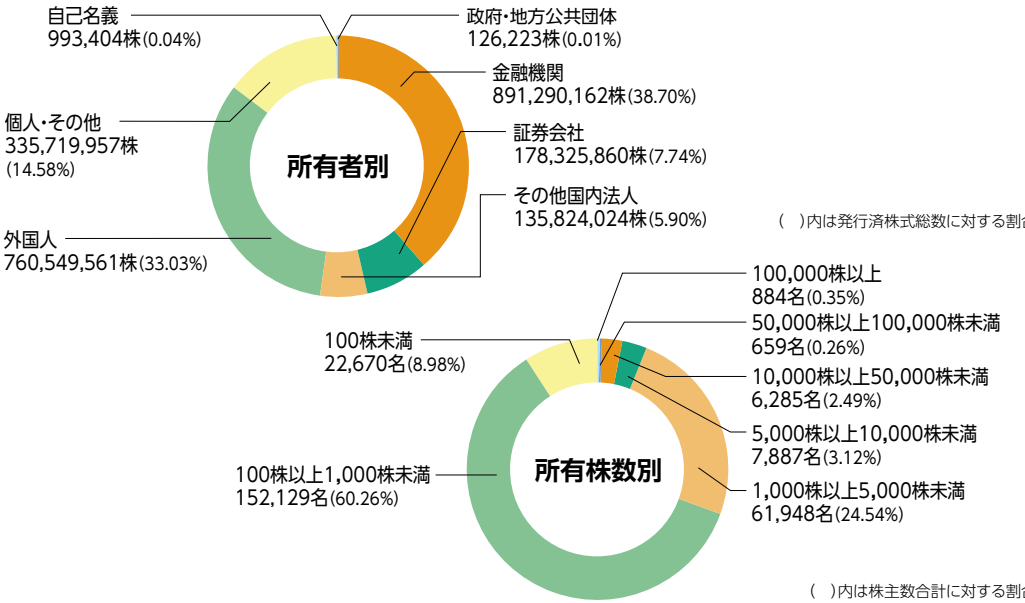
発行済株式総数 2,302,829,191株

株 主 数 252,462名

大 株 主
(上位10位)

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。		
株主の氏名または名称	持株数(千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	175,177	7.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	130,743	5.67
第一生命保険株式会社	125,241	5.44
日本生命保険相互会社	65,488	2.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	63,214	2.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	45,963	1.99
AMUNDI GROUP	45,133	1.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	44,706	1.94
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	44,050	1.91
JPモルガン証券株式会社	41,176	1.78

株式の分布状況



決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。
配 当 金	基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/
単 元 株 式 数	単元株式数は100株です。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容		お問い合わせ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ		株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	☎0120-782-031
		インターネットウェブサイトURL https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社	口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
	特別口座*の場合 (証券会社に口座をお持ちでない場合)	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	☎0120-782-031

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

- 当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。
- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため
- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

- (1) 共同利用者の範囲
- 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社関西みらい銀行
- (2) 共同利用する個人データの項目
- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報
- (3) 共同利用者の利用目的
- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため
- (4) 個人データの管理責任者の名称
- 株式会社りそなホールディングス(当社)

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

- 電話番号 東京 03-6704-3111(代表)
- 大阪 06-6268-7400(代表)
- 受付時間 9:00～17:00 (銀行休業日を除く)
- なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社はご連絡をいただいた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

りそなの株主優待は保有株式数に応じて
優待対象銀行※のクラブポイントを進呈します。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行



りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行に個人名義の普通預金口座をお持ちいただくこと、およびポイントサービスへのご入会が必要です。またご利用には所定の条件があります。

●ポイントサービス(クラブポイント)とは？

りそなグループ※各銀行とのお取引でためたポイントをパートナー企業のいろいろなポイントやマイルに交換できたり、手数料等の優遇を受けられる会費無料のポイントサービスです。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行(みなと銀行は対象外です)



保有株式数	毎月
500株未満	20ポイント
500株以上 4,000株未満	100株ごとに 5ポイント加算
4,000株以上	200ポイント



株主優待を
申込む



ポイントが
たまる!

ポイントは、給与・年金のお受取りや積立定期のお預入れなど、銀行をご利用いただくことでさらにたまります。

優遇をうける!

優待対象銀行※
ATM手数料無料

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行



ポイントを使う!

たまったポイントを
パートナー企業の
ポイント等に交換!

※パートナー企業の一例



お知らせ

2020年10月、クラブポイントのサービス内容をリニューアルしました。
家族間でポイントをプレゼントできる「家族サービス」等、新しいサービスも開始しています。詳細は、各銀行のホームページをご覧ください。



りそな銀行・埼玉りそな銀行



関西みらい銀行

ご来店不要!スマホアプリで便利にお手続き



株主優待を申し込みたいけれど、
口座を持っていない...



口座開設アプリなら、スマホでかんたんに
口座開設できます!

(運転免許証・マイナンバーカード・在留カード※をお持ちの方に限ります)

※口座開設後、株主優待を別途お申込みください。



たまったポイントをそろそろ
交換しようかしら?



りそなグループアプリなら、ポイントの確認や
交換もラクラク!振り込みをはじめとする
様々なお取引もスマホで完結できます。

注意事項

- 口座開設アプリで申し込みいただけるのは、日本にお住まいの個人のお客さまで運転免許証・マイナンバーカード・在留カードをお持ちの15歳以上の方です。
 - 口座開設(りそなTIMO)と同時に「マイゲート」(インターネットバンキング)「りそなクラブまたは関西みらいクラブ」「りそなデビットカード(VISA)」をお申込みいただけます。
 - りそなデビットカードは年会費無料です。りそなデビットカード(JMB)は「1,000 円+消費税※」(初年度年会費無料)がかかります。2年目以降の年会費は、1年毎に期間中1回以上のショッピングがあった場合は無料となります。※消費税率は年会費引落し時点での税率に基づきます。
 - 詳細は銀行ホームページをご覧ください。
 - スマホアプリで口座開設をした際は、手続完了後、別途、株主優待申込手続が必要となります。詳細は、銀行ホームページにてご確認ください。
- ※りそなスマート口座の開設時にご登録いただけるご本人確認書類は運転免許証・マイナンバーカード・在留カードのみとなっております(2020年11月末現在)。その他の書類での口座開設をご希望の場合は、郵送もしくは店頭で承ります。

郵送での2020年度の申込締切日は、**2020年12月31日(木)**(消印有効)です!
※2020年3月末時点の株式1単元(100株)以上を保有の株主さまが対象

※Web(マイゲート)申込は2021年3月31日(水)まで可能です。
※対象の株主さまには2020年6月に株主優待券兼株主優待申込書を郵送しています。

株主優待専用ダイヤル(通話料無料)

0120-13-1036

受付時間:9:00~17:00
(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)



毎年お申込みが
必要です!
お済みでない方は
お急ぎください!

りそなグループでは、日ごろご支援いただいている株主さまを対象にセミナーを開催いたします。りそなのこれまでの取り組みを振り返るとともに、りそなホールディングス社長がこれから目指す姿や戦略等について熱く語ります。
本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事前収録映像のオンライン配信となります。

出演予定



りそなホールディングス
代表執行役社長
南 昌宏



コーディネーター
八塩 圭子氏

上智大学法学部卒。1993年、テレビ東京入社。報道局経済部で記者を務めた後、同局アナウンス室に異動。2004年MBA取得。その後フリーとなりMC、コメンテーター等で活躍中。現在は、東洋学園大学現代経営学部准教授。

トップが語るこれからの「りそな」

視聴方法

以下URLからご視聴いただけます。
<https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/kojin/kabu-seminar/>



配信期間

2021年3月8日(月)～31日(水)

※配信期間・内容は変更になることがあります。詳細は上記URLにてご案内します。

ご質問事前受付のご案内

セミナーでは、りそなホールディングス社長が皆さまからのご質問にお答えします。以下の要領にて、事前質問をお寄せください。

※セミナーは約1時間を予定しています。お寄せいただいたすべてのご質問に回答できないこともあります。

※セミナーは事前収録した映像を配信する予定です。視聴時にご質問をお受けすることはできません。

締切:2020年12月31日(木)

Web 受付

<https://www.resona-gr.co.jp/seminar/>
必要事項をご入力の上、送信してください。



郵送 受付

同封のはがきにご記載のうえ、
締切日までにご投函ください。

名 称 株式会社 **りそなホールディングス** 証券コード 8308

(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話 (03) 6704-3111 (代表)

大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話 (06) 6268-7400 (代表)



りそなグループはお客さまとともに、
SDGs達成に貢献します。



この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。

